

経済学研究科学位授与方針

■博士課程前期課程

修士（経済学）

博士課程前期課程に2年（4学期）以上在学して所定の単位を修得し、かつ研究指導を受けた上、修士論文を提出して、その審査および最終試験に合格した者に、修士（経済学）の学位を授与する。本課程の修了者は、次の能力を身につけている。

1. 現代の経済社会が直面する事象および問題について経済学の知識を活用して論理的に考察する能力。
2. 独自の研究テーマを設定し、その解決に向けて情報を収集する能力。
3. 経済理論、経済史、統計学あるいはこれらの周辺領域から選択された専門分野を深く理解する能力。

修士（会計学）

博士課程前期課程に2年（4学期）以上在学して所定の単位を修得し、かつ研究指導を受けた上、修士論文を提出して、その審査および最終試験に合格した者に、修士（会計学）の学位を授与する。本課程の修了者は、次の能力を身につけている。

1. 現代の企業社会が直面する事象および問題について会計学の知識を活用して論理的に考察する能力。
2. 独自の研究テーマを設定し、その解決に向けて情報を収集する能力。
3. 会計学、あるいはその周辺領域から選択された専門分野を深く理解する能力。

■博士課程後期課程

博士（経済学）

博士課程後期課程に3年（6学期）以上在学して所定の単位を修得し、研究指導を受けた上、博士の学位申請論文を提出して、その審査および最終試験に合格した者に、博士（経済学）の学位を授与する。なお、優れた研究業績をあげた者については、1年（2学期）以上在学すれば足りるものとする。本課程の修了者は、次の能力を身につけている。

1. 現代の経済社会が抱える問題を理論的、歴史的、実証的に分析する能力。
2. 学術性の高い研究テーマを設定し、経済学の知識を活用して論理的に考察する能力。
3. 経済理論、経済史、経済政策論あるいはこれらの周辺領域から独自の研究課題を設定し、経済学の発展に寄与する独創的、先進的な研究を遂行する能力。

博士（会計学）

博士課程後期課程に3年（6学期）以上在学して所定の単位を修得し、研究指導を受けた上、

博士の学位申請論文を提出して、その審査および最終試験に合格した者に、博士（会計学）の学位を授与する。なお、優れた研究業績をあげた者については、1年（2学期）以上在学すればたりるものとする。本課程の修了者は、次の能力を身につけている。

1. 現代の会計制度が抱える問題を理論的、歴史的、実証的に分析する能力。
2. 学術性の高い研究テーマを設定し、会計学の知識を活用して論理的に考察する能力。
3. 会計学、あるいはその周辺領域から独自の研究課題を設定し、会計学の発展に寄与する独自の、先進的な研究を遂行する能力。